

大山町五色百人一首大会 実施要項

○受付 13:00～

来場チーム順に受付、チーム代表者を確認し、対戦相手を決めるくじを引いていただく。
くじにより座席表をお渡ししますので、決まった席で開会式までお待ちください。

○開会式 13:30～ (ルール説明・デモンストレーション)

○試合開始 14:00

1. 準備ができた対戦の奇数番号席の参加チーム代表者が、各列にいる審判員のところに行って、チーム番号を言って、使用色札(3セット×20枚)をもらい席に戻る。同チームの参加者に1セットずつ配り、それぞれ、もらった札20枚を上から10枚数えて取り、残り10枚を相手チームへ渡す。
2. 参加者はもらった10枚の札を自分に見やすいように5列2段に並べる。
3. 参加者は、並べ終わったら、試合開始前であれば、裏を見てよいが、並べ替えてはいけない。詠み手が札を詠み始めたら、裏を見てはいけない。
4. 詠み手は、上の句と下の句を通して詠んだ後、再度下の句のだけを詠む。
5. 取った札が正解札であるか、対戦者同士で確認する。
6. 各チームの代表者は、チーム全員が確認し終わったのを確認し、手をあげる。各列の審判員は、各列の全チームが確認し終わったことを確認し、詠み手へ知らせる。詠み手は全列が確認し終わったことを確認してから、再度、下の句を詠み、次の札を詠む。
7. 詠み手は1回の試合で17枚まで詠み札を詠む。試合終了後、両チームの代表者で勝敗と獲得枚数を確認の上、役員に報告し、奇数番号席のチームが色札(3セット×20枚)あるのを確認しゴムで結わえ、各列の審判員へ渡す。
審判員は次の試合の色札(3セット×20枚)を渡す。偶数番号席のチームは、次の試合席へ移動する。
8. 対戦準備ができたなら手をあげ、各列の審判員へ知らせる。各列の審判員は各列チームの全てが準備できたら詠み手へ知らせる。詠み手は全列の準備ができたなら2試合目を始める。(あとは繰り返し)

対戦ごとに審判員をおかないので(各列1名配置)、札の確認は対戦者同士で行う。

- ※ 予選は、3～4試合行う。(参加申込チーム数により決定。)
- ※ 予選順位は、予選でのチームの勝敗数により決定する。(勝敗数が同数の場合は、獲得枚数が多いほうが上位とする。)
- ※ 予選上位8チームにより決勝トーナメントを行う。
- ※ 1位から3位までを表彰する。

○表彰式 15:50～ ○終了 16:00 (予定)

○注意点

【どちらかがお手つきをした場合】

- ・一度お手つきをしたら、正解札を見つけても取ってはいけない。
- ・お手つきした人は、今まで自分の獲得した札の中から1枚を裏返して「場」に置く。相手が正解札をとったら、その「場」にある札は全て相手のものとなる。(もし、今まで自分が獲得した札が無く「場」に置く札が無かったら次は1回休みとなる。)

【二人ともお手つきをした場合】

- ・両方が、今まで取った札を「場」に1枚ずつ置く。正解札は裏返す。次の詠み札には両方参加して良いが、「場」に置く札の無い人は、次は1回休みとなる。

【同時に二人が正解札を取った場合】

- ・手の下の方が獲得する。
- ・手が重ならなかったらジャンケンで決める。